

社会教育から見た、 教員の新たな役割

小山市立小山第一小学校 教諭 綱川 詠子

社会教育主事講習で私が得た最大の学びは、「人とのつながり」を軸に教員という仕事を捉え直せたことです。オンライン講習という環境ではありましたが、学校外の実践や地域の視点に触れ、教室中心の発想から一歩外へ出る契機になりました。

昨年度まで勤務した社会教育施設では、子ども、保護者、高齢者、NPO等の多様な利用者との関わりを通じて、学びは生涯に開かれていると実感し、視野が広がりました。今、学校に戻った私は、その経験を授業づくりや校務改善、地域連携に生かしています。

これからも「人とのつながり」を軸に、学校や家庭、地域が共に支え合う教育を実践していきたいです。



10月7日（火）生涯学習研究会第1回研修会報告 〔城址公園ホール（壬生中央公民館 中ホール）にて〕

「そうだ、熟議をしよう！～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進のための第一歩～」をテーマに第1回研修会を実施しました。

研修1では、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～フェーズ2に向けた『熟議』『協働』『マネジメント』～」を演題に、東京都三鷹市教育委員会統括スクール・コミュニティ推進員であり、文部科学省コミュニティ・スクール推進員（CSマイスター）の四柳千夏子氏より、コミュニティ・スクール制度や学校・家庭・地域の『連携・協働』の意義についてご講話いただきました。大切なのは、「何のために」やっているのか、何を現実させていくのかを、地域と学校が安心して互いに意見を交わしながら、地域に「今ある」強みや魅力を最大限に生かしていくことの重要性を再認識することができました。

研修2では、「熟議マイスターになろう！～熟議体験を通してファシリテーションを学びましょう～」をテーマに、学校と地域が対話を通じてより良い連携・協働体制を築くための「熟議」の進め方について、ワークショップを実施しました。参加者はファシリテーターの役割を確認しながら、対話を通じて課題解決を図る意義を学び、今後の実践に向けた意欲を高めることができました。



生涯学習研究会 第2回研修会の御案内

日時 令和8年1月27日（火）13:30～16:30
会場 下野市石橋公民館
内容 講話：子どもが「居たい」「行きたい」「やってみたい」と思える居場所づくり
講師：文教大学人間科学部人間科学科准教授 青山 鉄兵 氏
対象 社会教育主事有資格者、地域連携教員他
申込み 所属長あての別送付開催案内により、お申し込みください。



発行
事務局

下都賀地区生涯学習研究会 ホームページでもご覧いただけます。 ふれあい学習課 情報誌・機関紙 で検索してください。

下都賀教育事務所ふれあい学習課内 TEL 0282-23-3422

E-mail shimotsuga-hureai@pref.tochigi.lg.jp



二次元バーコード